

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 24 年度第 5 回)

議事録

2013 年 1 月 15 日 (火) 開催

時 間	15:00～17:00	場 所	地盤工学会会議室		
桑 野 委 員 長	○	亀 村 オフ「サーハ」	○	工 藤 委 員 兼 幹 事	○
浅 田 委 員	○	岩 瀬 委 員	×	杉 本 委 員	○
山 口 委 員	×	野 崎 委 員	○	西 岡 委 員	○

○：出席 ×：欠席 △：未定

前回議事録の確認

【別紙 - 1】 pp. 1-3

- ・ 前回議事録を確認した。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員・支部部の動き (桑野委員長)

【別紙 - 2】 pp. 4-5

- ・ 来年度は支出を減らすため、会合回数を減らすなどの措置をとる必要がある。
- ・ ダイバーシティに関する会費減免措置の継続の可否について、会員支部部から理事会に出す意見のための文案を桑野委員長が作成することとなった。減免措置は継続した方がよい、という方針で理事会に出す予定である。会費減免措置が無くなったなら学会を退会する会員を引きとめる手立てを考える必要あり。

→座談会のテーマにしてはどうか、という意見あり。

2. 来年度第三次予算案について(工藤委員)

【別紙 - 3】 pp. 6-8

- ・ 来年度の第三次予算案が紹介された。

3. 土木学会動向(出版企画含む)(工藤委員、野崎委員)

【別紙 - 4】 pp. 9-10

- ・ 土木学会では、今年度、全国大会の際のランチカフェに注力したため、ダイバーシティに関するシンポジウムは行わないこととなった。
- ・ 書籍「継続は力なり」が土木学会創立 100 周年記念出版事業の一つとして、販売開始の運びとなった。

4. 男女共同参画学協会連絡会関連報告 (山口委員)

【別紙 - 5】 pp. 11-13

- ・ 大規模アンケートの回答状況が紹介された。

5. ダイバーシティ減免アンケート結果について(西岡委員)

【別紙 - 6】 pp. 14-17

- ・ 会費減免制度についてのアンケート結果が報告された。その結果、会費減免措置がなければ会員にならなかった、という回答が 1/3 であった。また、今後については、会費減免措置が終了したら会員をやめようと思う、との回答が 1/3 あった。

【審議事項】

1. 若手会員意見交換会の開催・準備について

【別紙 - 7】 pp. 18-19

- ・ 20 名程度の参加者を予定しており、当委員会の委員を含めて 30 人程度で実施する予定。学生の参加者はなし。
- ・ 模造紙を用意し、好きなことを書くようにする。
- ・ アンケートを配布する。内容は以下などを予定。

○若手対象のイベント、方策ではどのようなものがあるか

- 興味ある企画、参加してみたい委員会はあるか
- ・当日は14時集合、担当は以下の通り
 - 受付：野崎委員、西岡委員
 - カメラ持参：山口委員、杉本

2. シニアWGについて

- ・H24/12/21に亀村オブザーバと岸田理事で方向性などを打合せた。その結果は以下の通り。
 - 建築および土木の分野からキーパーソンを2, 3人集めるべき
 - シニア5~6人、ダイバーシティ委員会から1~2人、若手、女性から1~2人でメールのやり取りをし、方向性を出す
- ・1月中に候補を決め、2月に方向性についてのやり取りを開始したい
- ・55歳以上、あるいは70歳以上を対象に、学会を続ける理由などについてのアンケートを実施することを考えている

3. 来年度の特別セッションならびにサロン・土・カフェWの準備について【別紙-8】pp. 20-23

- ・特別セッションでの発表内容として以下の3つを予定することとした。
 - ①雪割草の活動
 - ②シニアWGの活動報告
 - ③若手カフェの成果
- ・カフェについては、雪割草で担当者を1人決めてもらう。
- ・事前に桑野委員長が雪割草と話しをする。
- ・北陸支部では、金沢大でWEB会議が可能である。

4. 来年度以降のダイバーシティ減免の継続の可否について

- ・基本的に、来年度も継続の方向で、会員支部部および理事会に提案していくこととなった。

5. 次回開催日の確認：3月4日（月）15~17時

以上